

ワイドバンド レシーバー

RZ-1

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

KENWOOD

目次

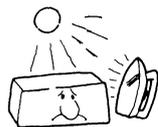
1. ご使用の前に	3	6. カセットデッキ接続時の操作	32
2. 定格および付属品	4	7. 参考	
3. 設置および接続	5	5. アクセサリー	33
設置		6. 保守	
接続	6	アフターサービス	
車載の場合, 屋内で使用する場合		故障とお考えになる前に	34
4. 操作	10		
1. 各部の名称と機能			
前面パネル, LCDディスプレイ, 背面パネル			
2. 受信	14		
ダイレクトバンド受信	15		
テンキーによる選局(オートモード)	17		
テンキーによる選局(マニュアルモード)	20		
3. メモリー	22		
メモリーの書き込み			
メモリーチャンネルの呼び出し	23		
メモリーシフト	24		
4. スキャン	25		
スキャンの種類			
スキャンストップ条件			
フルレンジスキャン			
バンドスキャン	26		
メモリーチャンネルスキャン	27		
メモリーチャンネルグループスキャン			
メモリーチャンネルロックアウト	28		
5. メッセージメモリー			
メッセージメモリーの書き込み			
メッセージメモリーの呼び出し	31		

1. ご使用の前に…必ずお読みください。

本取扱説明書に記載されている場合を除き、ケースなどを外し、内部にふれることはさけてください。内部に手をふれると感電、故障の原因となることがあります。



直射日光の当たる所、暖房器具など発熱物の近くはさけてください。

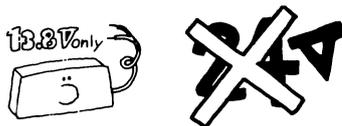


花びん、化粧品など水の入ったものは、セットの上に置かないでください。また、湿気の多い所はさけてください。



湿度の高い所や、冷たい所から急に暖かい所へ移動しますと製品に露がつく場合があります。露がつくと製品の動作に悪影響を与え、故障の原因となりますので、よく乾燥させ、露をよく取り除いてからご使用ください。

本セットはDC13.8V用です。大型車などの24Vには直接接続しないでください。



ほこりの少ない安定した場所にセッティングしてください。



チューナー、テレビなど、他の機器に妨害を与えるようなときは、距離を離して設置してください。



DC安定化電源を使用する場合

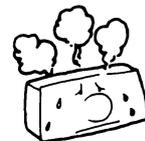
ぬれた手で AC 電源プラグの抜き差しを行いますと感電するおそれがあります。絶対にしないでください。



ACコードを引っぱったり無理に折りまげたり、継ぎ足したりすることは、通電しなくなったり、ショートのおそれがありますのでしないでください。



万一、煙が出たり、変な臭いがする場合は、電源スイッチをすばやくOFFにして、電源コードを抜いてください。そのうえ速やかに購入店または最寄りの当社サービスセンター、営業所へご連絡ください。



2. 定格および付属品

2-1. 定 格

受信周波数範囲		500kHz～905MHz
電波の型式		A3E(AM) F3E(FM-W, FM-N) C3F〔TV(映像)〕(NTSC方式)
アンテナインピーダンス		50～300Ω (50Ω基準), 不平衡 (ANT1およびANT2)
周 波 数 ス テ ッ プ	手動切り替え	5kHz, 12.5kHz, 20kHz, 25kHz
感 度	AM(10dB S/N)	5μV(中波放送バンドでは, 10μV以下)
	FM-N(12dB SINAD)	6μV以下(60MHz未満で) 3μV以下(60MHz以上で)
	FM-W(12dB SINAD)	1μV以下(83MHzにて)
スケルチ感度(FM-Nモード選択時のみ)		0.1μV以下
メモリーチャンネル数		100
出 力 レ ベ ル	EXT. SP (外部スピーカー端子)	2W以上(負荷: 8Ω, ひずみ率: 5%, 入力信号: FM, 1kHz, ±3.5kHz DEV)
	LINE OUT端子	150mV
	TV(映像)	1Vp-p, 75Ω表示周波数範囲60MHz以上
ステレオの分離度 (FM-Wモード選択時)	FMステレオ	30dB以上(1kHzにおいて)
	TV(音声多重)	20dB以上(400Hzにおいて)
電 源		DC11～16V(13.8V基準)
接地極性		マイナス(-)
消費電流		1A(オーディオ出力: 1W時)
使用温度範囲		-10°C～+60°C
寸 法(幅×高さ×奥行き, 突起物を含む)		180×50×176mm
重 量		1.5kg

ご注意:

1. JAIA(日本アマチュア無線機器工業会)で定めた測定法による。
2. 定格は技術開発に伴い, 変更することがあります。

2-2. 付属品

DC電源コード	1
カーコネクター付アンテナケーブル	1
L型金具	2
座金付六角ボルト(M4×8mm)	5
” (M5×16mm)	4
フランジ付六角ナット	4
タッピンネジ	4
平座金	4
脚	4
予備ヒューズ(1.5A)	1
保証書	1
取扱説明書	1

ご注意:

ダンボール箱などは移動の際やアフターサービスのご依頼時などのために保管しておいてください。

3. 設置および接続

3-1. 設置

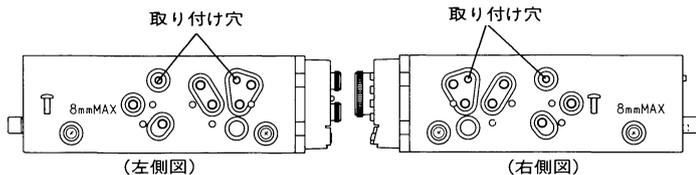
車載

A. グローブボックスの下に取り付ける場合。

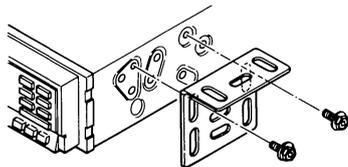
ご注意：

1. 取り付け位置は、安全性、操作性を考慮して決めてください。
2. 振動ではずれないように、しっかりと取り付けてください。

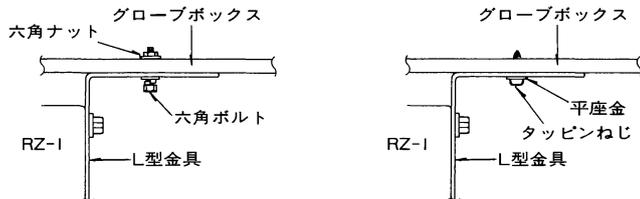
座金組み込み六角ボルト（付属品、M4×長さ8mm、4本）を使用して、L型金具をセットの両側面に取り付けてください。



左側面にも同様にL型金具を取り付けてください。



座金組み込み六角ボルトまたは、タッピンねじを使用して、セットをしっかりと取り付けてください。



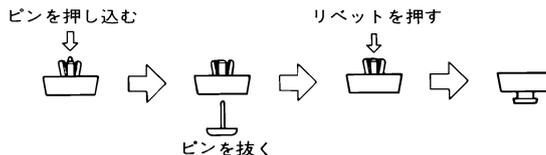
B. コンソールに取り付ける場合。

1. 取り付けについては、お近くの当社営業所または、サービスセンター窓口にご相談ください。
2. 取り付ける前に、背面パネルのATTスイッチをOFFにしてください。

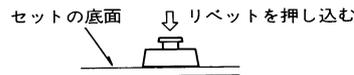
屋内で使用する場合。

屋内で使用する場合の脚が用意されています。

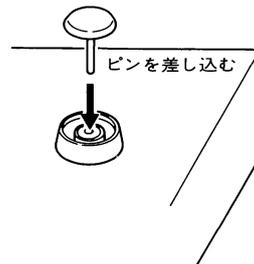
脚の取り付け



セットの底面の取り付け用丸穴の位置に脚を置き、取り付け用丸穴にリベットを押し込んでください。



リベットの穴に、ピンを奥まで差し込んでください。



3-2. 接 続

3-2-1. 車載の場合

■DCコードで接続する場合(RZ-1単体でのご使用)

ご注意:

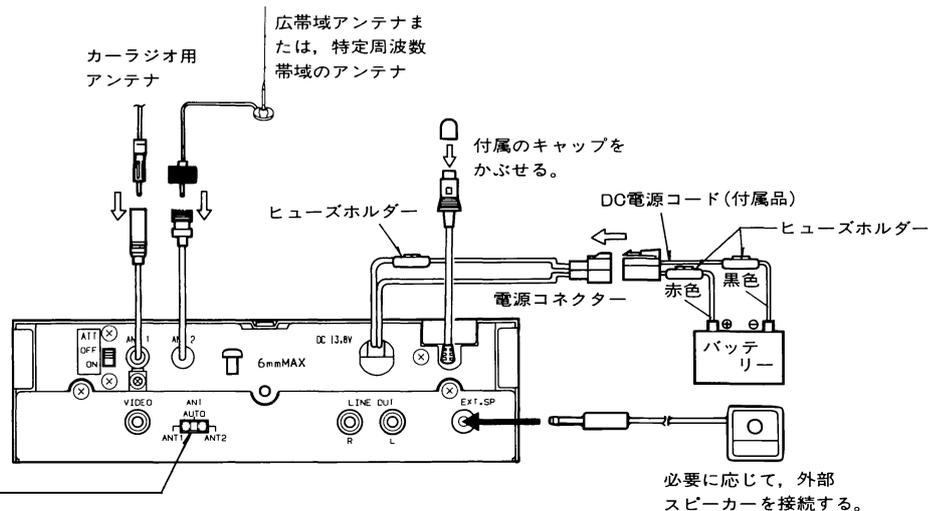
1. 機器の破損を防止するために、電源を接続したり、はずしたりする前に、必ずPOWERスイッチを切ってください。
2. ショート事故を防止するために、バッテリーのマイナス端子にあらかじめ接続されている配線は、接続が完了するまで必ずはずし、最後に元どおりに接続してください。
3. DC電源コードは、バッテリーの端子に直接接続してください。
4. 配線終了後、ヒューズホルダーを耐熱性のテープなどで巻き、水滴から保護してください。
5. ショート事故を防止するため、DINコネクタには付属のキャップをしっかりとかぶせてください。
6. ヒューズが切れた場合は、各コード類がショートなどで損傷していないかを確認してから、指定容量のヒューズと交換してください。

接続したアンテナにより選ぶ。

ANT1
カーラジオ用アンテナだけが接続されている時。

ANT2
広帯域アンテナまたはバンド専用アンテナだけが、接続されている時。

AUTO
ともに接続されている時。



●アンテナについて

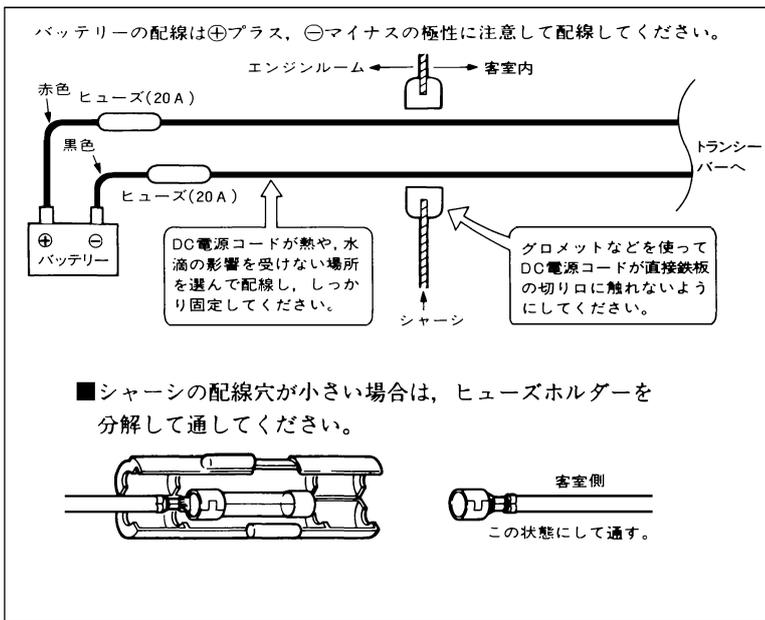
受信機の性能は使用するアンテナに大きく左右されます。

受信する周波数に適した市販のアンテナをお使いください。付属のアンテナは屋内用簡易型です。場所によって聞こえない場合には、各バンド専用アンテナ(例、TV用アンテナ、FMアンテナ、アマチュア無線用アンテナ)等をお使いください。

●イグニッションノイズ対策について

RZ-1は、イグニッションノイズに対して十分に配慮されていますが、車種によっては大きいレベルのノイズを発生する場合があります。このような場合は、抵抗入りスパークプラグなどの使用をご検討ください。

●DC電源コードの接続



■DINコネクターで接続する場合(当社カーコンポーネントとの組み合わせ)

当社製のカセットデッキまたはデッキアンプのうち、DINコネクター(8ピン)のチューナー入力端子をもつセットと接続することができます。

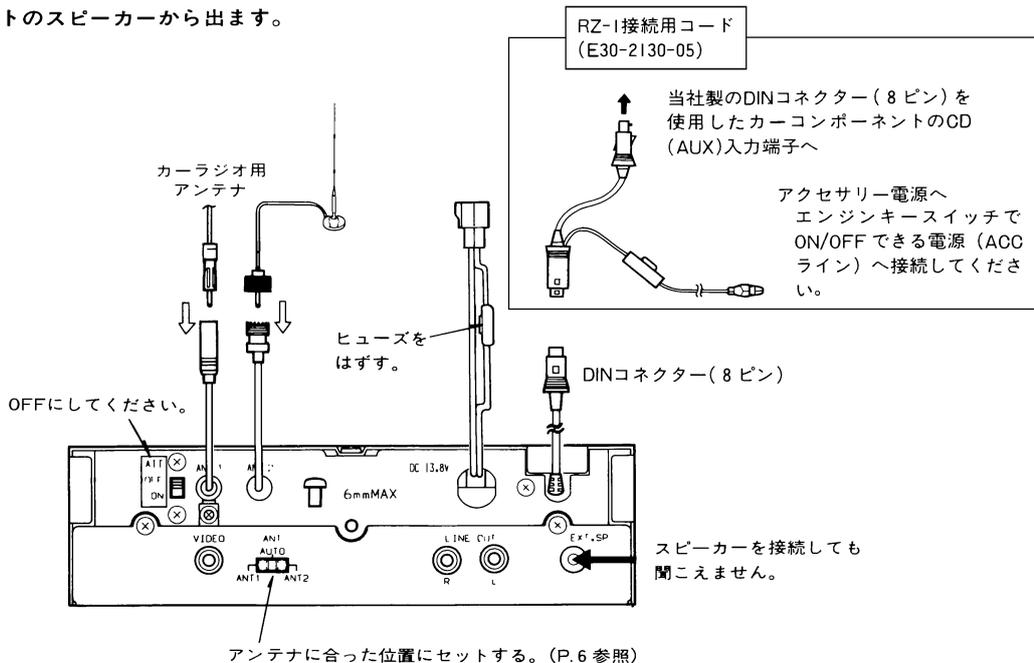
当社製のカーコンポーネントの中で、DINコネクター(8ピン)のCD(AUX)入力端子をもつセットに接続する場合は、中継用の接続コードが必要です。当社サービスセンターへご注文ください。

(RZ-1接続用コード：品番E30-2130-05)

音声は、カーコンポーネントのスピーカーから出ます。

ご注意： _____

1. 機器の破損を防止するために、電源を接続したり、はずしたりする前にエンジンキーをOFFにしてください。
2. ショート事故を防止するために、RZ-1のDC電源コネクターのヒューズは必ずはずしてください。
3. DINコネクターの付属キャップは捨てないでください。
4. 接続方法については、組み合わせるカーコンポーネントの取扱説明書も参照してください。

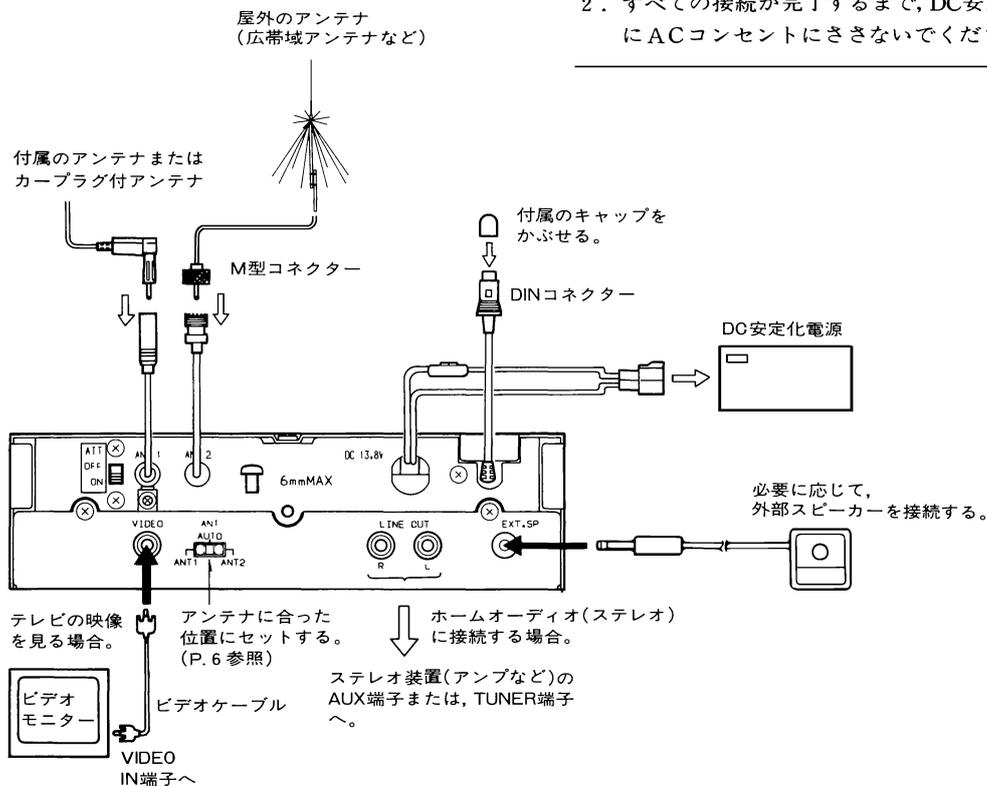


3-2-2. 屋内で使用する場合

■DC13.8V(電流容量2A以上)の安定化電源に接続します。

ご注意：_____

1. 感電または機器の破損を防止するために、電源を接続したりはずしたりする前に、RZ-1およびDC安定化電源のPOWERスイッチを必ず切ってください。
 2. すべての接続が完了するまで、DC安定化電源のプラグを絶対にACコンセントにささないでください。
- _____



ご注意：_____
ケーブルテレビ
には使えません。

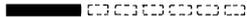
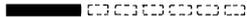
4. 操作

4-1. 各部の名称と機能

前面パネル

②SQLつまみ

受信モードがFM-Nの時のみ

1. 同調つまみで信号のない周波数を選びます。
2. SQLつまみを左回し切りにします(雑音が出る)。
3. LCDディスプレイの SIGNAL が  になります。
4. SQLつまみを右に回して、点灯中の  が丁度消える点にします。
5. 雑音が消え調整は終了です。

③PHONESジャック

モノラルのイヤホンジャックです。使用中はスピーカーからは音は出ません。背面のDINコネクタでカーコンポーネントに接続して使用している時は、このジャックからは音は出ません。

④VFO/M. chキー

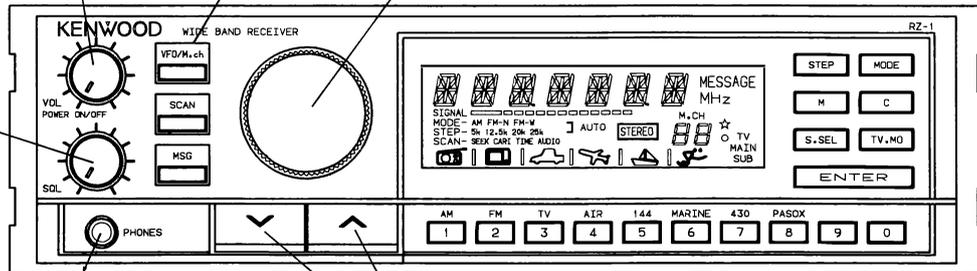
VFO動作とM. ch動作を切りかえます。M. ch動作の時はLCDディスプレイにM.CH表示がでます。

①VOL/POWERつまみ

ご注意：当社製カーコンポーネントと接続した場合は、このつまみは動作しません。

⑤同調つまみ

VFO動作時 : 周波数の選択
M. ch動作時 : メモリーチャンネルの選択
スキャン時 : スキャンの方向変更
メッセージ書き込み時 : キャラクタの選択



⑥UP/DWNキー

VFO動作時 : 周波数の選択
M. ch動作時 : メモリーチャンネルの選択
スキャン時 : スキャンの方向変更
メッセージ書き込み時 : 書き込み桁の選択

⑦SCANキー

スキャン（自動選局）機能をON/OFFさせるキーです。
(スキャン P.25)

⑧MSGキー

メッセージ書き込みおよび呼出しキーです。

M.ch動作時

メッセージ画面を表示します。

VFO動作時

表示周波数と同じ周波数がメモリーされているメモリーチャンネルのメッセージ画面を表示します。

⑩STEPキー

VFO動作時：押すたびに周波数ステップを5k→12.5k→20k→25kに切りかえます。
注）ダイレクトバンド受信の時は切りかわりません。
注）モードがAUTOの時は、AUTOを解除します。

M.ch動作時：メモリーチャンネルロックアウト機能をON/OFFさせます。

⑪Mキー

VFO動作時：表示中の周波数をメモリーに書きこみます。

M.ch動作時：表示中の周波数をVFO動作に移します(メモリーシフト)。

⑫S. SELキー

押すたびにスキャンモードをSEEK→CARI→TIME→AUDIOに切りかえます。

⑬MODEキー

VFO動作時：押すたびにAM→FM-N→FM-W→AUTOにモードを切りかえます。
注）ダイレクトバンド受信の時は切りかわりません。

M.ch動作時：押すたびにAM→FM-N→FM-Wにモードを切りかえます。

⑭Cキー

スキャン解除、メモリー書き込み中止、テンキーによる周波数やメモリーチャンネルの選択を中止します。

上記以外の時はTUNER機能をON/OFFします。

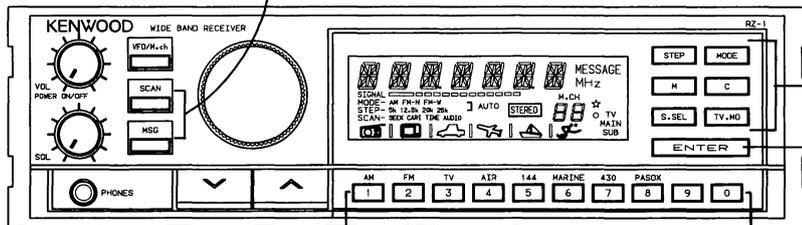
⑮TV. MO(テレビモード)キー

TV音声多重放送を受信中、DIN端子とLINE OUTの出力が、押すたびにMAIN→SUB→MAIN+SUBに切りかわります。

⑯ENTERキー

VFO動作時：LCDディスプレイの周波数表示部を——.—.—.—にし、テンキーによる選局の入力待ち状態にします。

M.ch動作時：テンキーによるメモリーチャンネル選択を終了させます。



⑨テンキー

ダイレクトバンド受信時：受信するバンドを指定します(1～8)。

VFO動作時：

ENTERキーと併用で周波数を直接入力します。

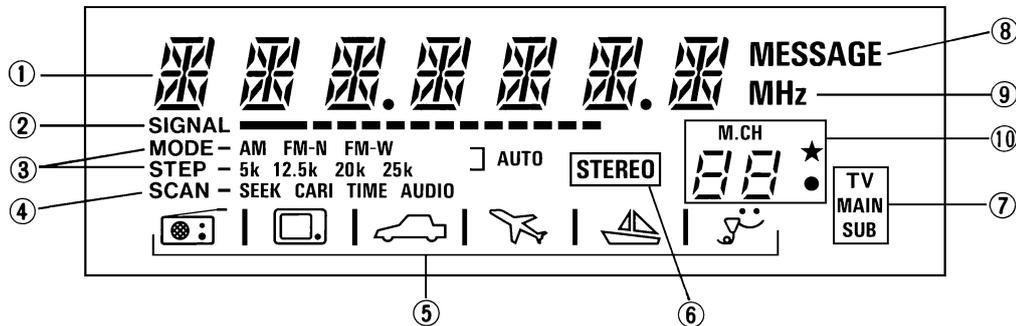
M.ch動作時：

メモリーチャンネルを直接呼び出します。

メッセージ書き込み時：

マーク指定を行います。(1～7)。

LCDディスプレイ



⑥ **STEREO** FMまたはTVのステレオ放送を受信している時点灯します。

TV
⑦ **MAIN SUB** TVの音声多重放送を受信している時点灯します。TV・MOキーによりMAIN/SUBを切りかえます。

① **周波数表示** 受信中の周波数とメッセージを表示します。

② **SIGNAL** 受信信号の強さを表示します。

③ **MODE - AM FM-N FM-W**] **AUTO**
STEP - 5k 12.5k 20k 25k
選択されている周波数のモードとステップを表示します。

④ **SCAN - SEEK CARI TIME AUDIO**
選択されているスキャンストップ条件を表示します。スキャン中は点滅します。

⑤
ダイレクトバンド受信時とオートモード時は、設定のマークを表示します。メッセージとしては任意のマークをメモリーできます。

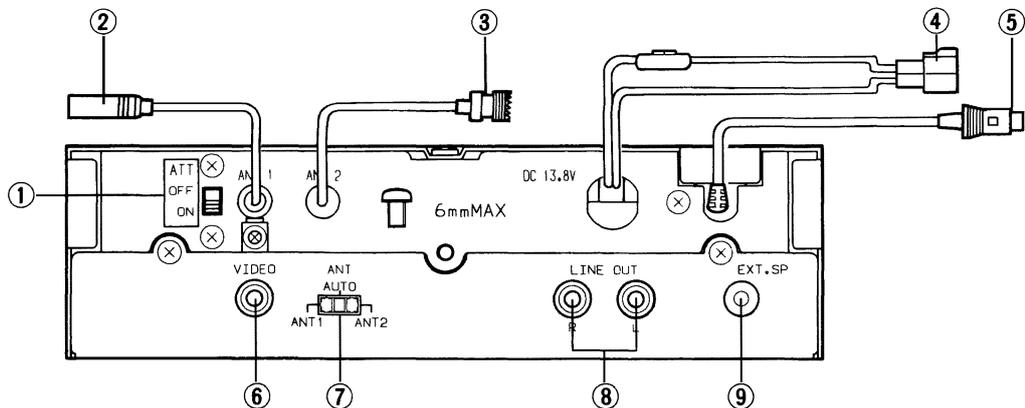
⑧ **MESSAGE** MSGキーが押され、メッセージ表示になっている時点灯します。

⑨ **MHz** 受信周波数表示の時点灯します。

⑩ **M.ch表示** M.ch動作時に点灯します。メモリーチャンネルをテンキーで選択している間は、点滅しています。

ダイレクトバンド受信の時はこの★印だけが点灯します。メモリーチャンネル番号とともに点灯している時は、メモリーチャンネルロックアウトされています。受信中のメモリーチャンネル番号を表示します。メモリー書込時のチャンネル選択時には点滅します。メモリーチャンネル時にはメッセージが書き込まれている時点灯します。

背面パネル



①ATTスイッチ

車載の場合はOFF，固定局の場合はONにしてください。

②ANT 1 端子

カーラジオ用アンテナ端子です。付属のカーコネクタ付アンテナケーブルはこのコネクタに接続します。

③ANT 2 端子

広帯域アンテナ，専用アンテナ等の接続端子です。

④電源コネクタ

DC 13.8V用の端子です。DINコネクタとは併用しないでください。

⑤DINコネクタ (ディン)

当社製のカセットデッキまたはデッキアンプのうち，DINコネクタ（8ピン）のチューナー入力端子と接続します。音声は全てカーコンポーネント側に移ります。

⑥VIDEO端子

TV放送の映像を見る場合はビデオモニターに，録画する場合はビデオに接続する端子です。

⑦ANTスイッチ

アンテナ端子②，③の切り換えスイッチです。AUTOの時はAM(504～1,629kHz)帯とFM(76.1～89.9MHz)帯はANT 1に，その他はANT 2に自動的に切りかわります。

⑧LINE OUT (ラインアウト)

ステレオ装置のAUX端子またはTUNER端子に接続してステレオ受信するための端子です。音量のコントロールはステレオ装置で行ってください。

⑨EXT. SP端子

外部スピーカーを接続します。

4-2. 受信

ご注意： _____

秘密の保護について、次のとおり電波法に規定されています。
(電波法より抜粋)

何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、特定の相手方に対して行われる無線通信（電気通信事業法第四条第一項又は第九十条第二項の通信たるものを除く。第百九条において同じ。）を傍受してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない。（電波法第五十九条）

車載でご使用の場合、安全運転のために、次のことを心がけてください。

1. 車内での操作は、停車中に行うかまたは、同乗者が行うようにしてください。
2. 車外の音がよく聞こえるような音量に調節してください。

RZ-1では、受信周波数の設定に下記の3つの方法があります。

1. ダイレクト・バンド受信

AM, FM, TV放送帯や各種無線バンドを直接選択し、バンド内の希望の周波数を選定します。モードとステップは自動的に決まります。

2. テンキーによる選局(オートモード)

受信したい周波数を直接テンキーで選びます。

モードを AUTO にすることでモードとステップは自動的に変わります。

3. テンキーによる選局(マニュアル・モード)

特殊なモード、ステップ、周波数構成の電波を受信することができます。

RZ-1の選局には、前記3つの方法で周波数を設定する他に、下記2つの便利な方法があります。

1. メモリーチャンネルにメモリーする

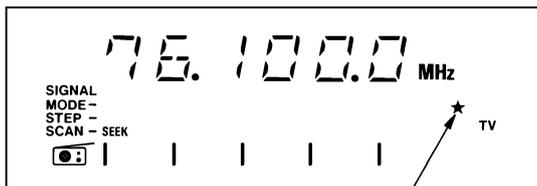
設定した周波数データをメモリーチャンネルに保存し、任意に呼び出して受信します。

2. スキャン

全バンド、特定バンド内、全メモリーチャンネル、特定のメモリーチャンネルを選んで、その範囲内の電波を自動的に受信することができます。

操 作

1. LCDディスプレイにM.ch表示が灯っていないことを確認します。
もし灯いている場合は、VFO/M.chキーを1回押してから受信したいバンドのキーを押します。
例. FM放送:  キーを押す。
2. 最初はLCDディスプレイに初期設定値が表示されます。



ダイレクト・バンド受信中であることを示します。

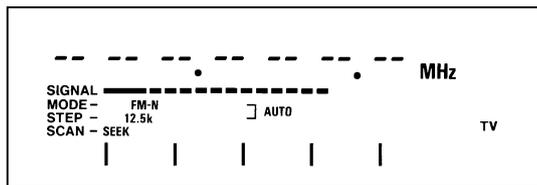
(工場出荷時には、各バンドの下限の周波数に初期設定されています。)

3. 同調つまみ、またはUP/DWNキーで希望の受信周波数を選局してください。
選択したバンドの上限(下限)に達すると、下限(上限)へ移ります。
例. FM放送の場合

→ 76.100 ← → 89.900 ←

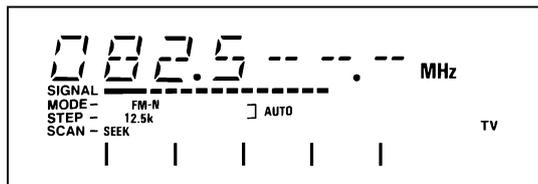
操 作

1. LCDディスプレイにM. ch表示が灯っていないことを確認します。
もし灯っている場合は、VFO/M. chキーを1回押します。
2. ENTERキーを押します。

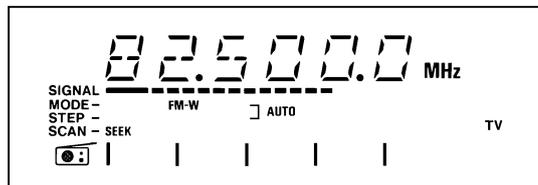


LCDディスプレイは、入力待ち状態になります。

3. 希望の周波数を、テンキーで直接入力します。
例, 82.500MHzの場合
0, 8, 2, 5の順にテンキーを押します。



4. 全桁入れ終るか、または残りが0だけになった時ENTERキーを押します。



テンキーによる選局は完了しました。

5. 選択された周波数と電波の型式（モード）が一致すると受信します。オートモードにすると周波数に合わせたモードとステップを自動的に選択します。

●オートモードの設定

MODEキーを押すたびに、モードはAM→FM-N→FM-W→AUTOを選びます。

6. 同調つまみ、UP/DWNキーで504k~905MHzの選局ができます。

オートモード時のご注意：_____

1. 常に100MHz桁から選局をはじめるので、それ以下の周波数の選局は、最初に0をいれてください。
2. 各周波数ごとに周波数ステップが決まっています。このため下3桁は、選局終了のENTERキーを押した時、自動補正されます。
例, ステップ12.5kで444.4444を入力すると444.4375になる。
3. TV放送帯の場合は、TV放送のチャンネルプランに合わせて自動補正されます。
例, 555.5555を入力すると553.7500(26chの音声周波数)になる。

オートモード表

オートモード時には、設定された周波数によって、モード、周波数ステップ、マークは下表のように自動的に決まります。

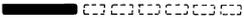
受信周波数範囲	モード	周波数ステップ	マーク	備考	受信周波数範囲	モード	周波数ステップ	マーク	備考
0.5040～1.6290MHz (504.0～1629.0kHz)	AM	9kHz		中波放送 AM	221.7625～ 335.3875MHz	AM	12.5kHz	/	
1.6300～ 76.0950MHz		5kHz	/		335.4000～ 429.9875MHz			/	
76.1000～ 89.9000MHz	FM-W	100kHz		FM放送	430.0000～ 439.9900MHz	FM-N	10kHz		アマチュア無線
90.0000～ 95.7450MHz	FM-N	5kHz	/		440.0000～ 475.7325MHz		12.5kHz	/	
95.7500～ 107.7500MHz	FM-W	6MHz		テレビ放送(1～ 3チャンネル)	475.7500～ 769.7500MHz	FM-W	6MHz		テレビ放送(13 ～62チャンネル)
107.7600～ 117.9900MHz	AM	10kHz	/		769.7625～ 902.9875MHz	FM-N	12.5kHz	/	
118.0000～ 135.9900MHz				エアバンド	903.0000～ 905.0000MHz				パーソナル無線
136.0000～ 143.9900MHz	FM-N	10kHz	/						
144.0000～ 145.9900MHz				アマチュア無線					
146.0000～ 155.9900MHz			/						
156.0000～ 161.9950MHz		5kHz		マリンバンド					
162.0000～ 175.7400MHz	FM-W	10kHz	/						
175.7500～ 221.7500MHz		6MHz (4MHz)		テレビ放送(4～ 12チャンネル)					

4-2-3. テンキーによる選局 (マニュアルモード設定)

つまみの名称と機能

①VOL/POWERつまみ
 ご注意：当社製カーコンポ
 ネットと接続した場合は、こ
 のつまみは動作しません。

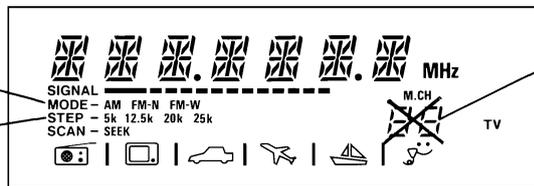
②SQLつまみ
 受信モードがFM-Nの時のみ

1. 同調つまみで信号のない周波数を選びます。
2. SQLつまみを左回し切りにします。
(雑音ができます。)
3. LCDディスプレイの SIGNALが
 になります。
4. SQLつまみを右に回して、点灯中のが丁度消える点にします。
5. 雑音が消え調整は終了です。

④VFO/M. chキー：LCDディスプレイに⑩M. ch表示が点灯している時はメモリーチャンネル動作中です。周波数の選択は行えませんのでVFO/M. chキーを1回押して、VFO動作に切りかえます。

⑤モード表示

⑥ステップ表示



⑩M. ch表示

⑦STEPキー

押すたびに →5k→12.5k→
 20k→25k→……と周波数ス
 テップを変えます。

⑧MODEキー

押すたびに →AM→
 FM-N→FM-W→
 AUTO→AM…とモー
 ドを切りかえます。

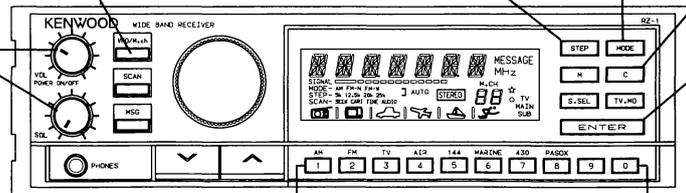
⑨Cキー

選局中に押すと
 クリアキーに
 なります。

⑪ENTERキー

LCDディスプレイの周波
 数表示を

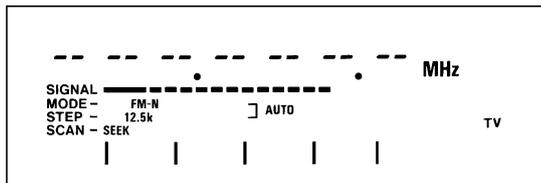
にします。テンキー選局
 の入力待ち状態です。
 続けて2回押すと、入力
 待ち状態は解除され、元
 のVFO動作に戻ります。



⑬テンキー

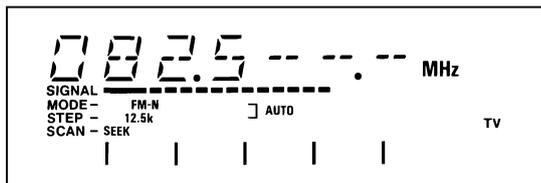
操作

1. LCDディスプレイにM. ch表示が灯っていないことを確認します。
もし灯いている場合は、VFO/M. chキーを1回押します。
2. ENTERキーを押します。

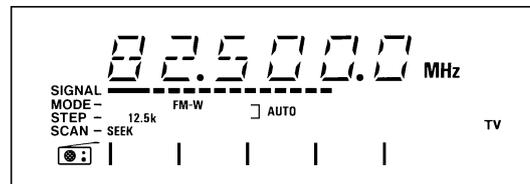


LCDディスプレイは、入力待ち状態になります。

3. 希望の周波数をテンキーで直接入力します。
例、82.500MHzの場合
0, 8, 2, 5の順にテンキーを押します。



4. 全桁入れ終るか、または残りが0だけになった時ENTERキーを押します。



テンキーによる選局は完了しました。

5. 選択された周波数と電波の型式（モード）が一致すると受信します。
MODEキーを押すたびに、モードはAM→FM-N→FM-W→AUTO→AM……と変わります。
6. 周波数ステップを選びます。同調つまみ、UP/DWNキーで全帯域(500K~905MHz)の選局ができます。

ご注意：

1. 常に100MHz桁から選局をはじめるので、それ以下の周波数の選局は、最初に0をいれてください。
2. 下3桁は、選局終了のENTERキーを押した時、選択された周波数ステップにより自動補正されます。
例、ステップ20Kで444.4444を入力すると444.4400になる。

4-3. メモリー

メモリーチャンネル数は100チャンネルです。工場出荷時には、M.ch99のメッセージを除いて、何も書きこまれていません。

10のグループに分けて、グループ内でスキャンさせることができます。あらかじめグループわけしてメモリーすると便利です(メモリーチャンネルグループスキャンP27)。

各メモリーチャンネルには、周波数、モードの他にメッセージ、マークがメモリーできます(メッセージメモリーP28)。

4-3-1. メモリーの書き込み

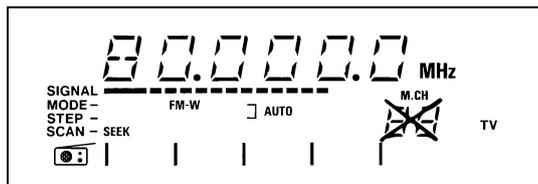
1. LCDディスプレイにM.ch表示が灯っていないことを確認します。

もし灯いている場合は、VFO/M.chキーを1回押します。

同調つまみ等で希望の周波数を選択します。

MODEキーで希望のモードを選択します。(AUTOモードにしておくと、周波数に応じたモードおよびステップが選択されます。)

例, 80.0MHz AUTOモード



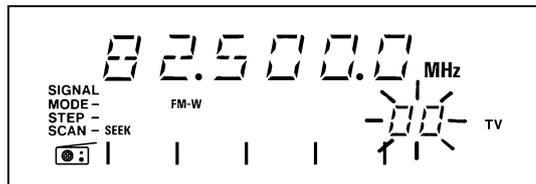
2. Mキーを押します。

最後に操作したメモリーチャンネルが表示されます。

例, チャンネル00,

書き込まれている周波数 82.5MHz

書き込まれているモード FM-W

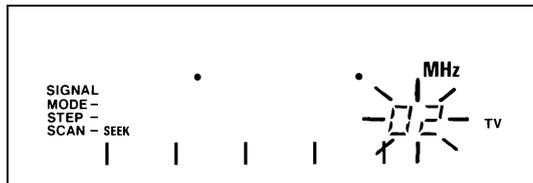


メモリーチャンネル番号は点滅し、書き込みモードになっています。

3. 希望のメモリーチャンネルを同調つまみで選びます。

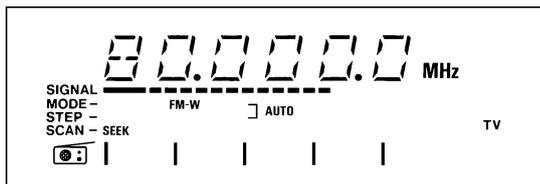
例, チャンネル02(何も書きこまれていない状態)

同調つまみの他にUP/DWNキーまたはテンキー(0, 2と押す)でも選べます。

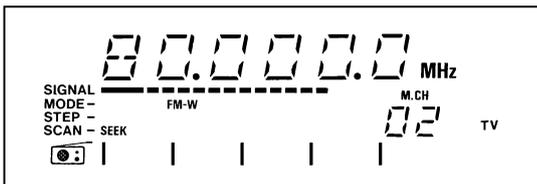


4. Mキーを押します。

書き込みは完了します。LCDディスプレイは、VFO動作に戻ります。

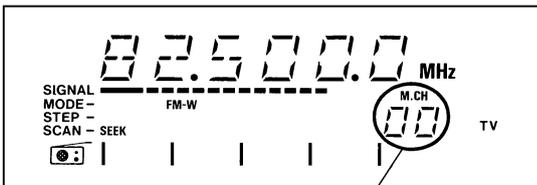


5. VFO/M.chキーを押して、確認します。



4-3-2. メモリーチャンネルの呼び出し

1. メモリーの呼び出しは常にM.ch動作でおこないます。LCDディスプレイにM.ch表示がついていない時は、VFO/M.chキーを押して、M.ch動作にしてください。



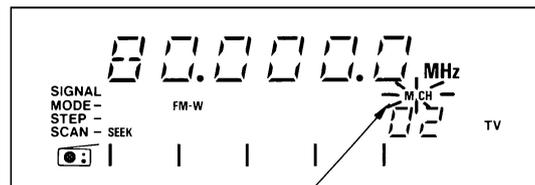
M.ch表示

次の2つの方法でメモリーチャンネルを呼び出せます。

2-A. 同調つまみ、またはUP/DWNキーで希望のメモリーチャンネルを選びます。UP/DWNキーを押し続けると早送りになります。

2-B. 希望のメモリーチャンネル番号を直接テンキーで選びます。(00-99)。選局するとM.chが点滅します。

例, 2



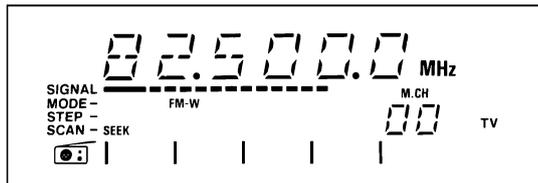
M.chが点滅する

M.chが点滅している間は、チャンネル選局中で、ENTERキーを押すと選択した周波数で受信します。

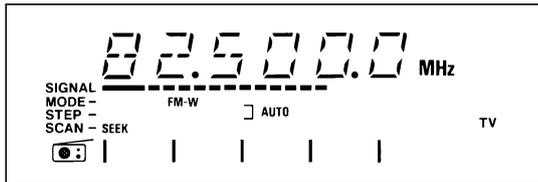
4-3-3. メモリーシフト

メモリーチャンネルの周波数を VFO 動作に移しその周波数を UP/DWNさせる時に用います。

1. VFO/M. chキーでM. ch動作にします。
2. 同調つまみ等で希望のメモリーチャンネルを呼び出します。



3. Mキーを押します。



メモリーチャンネルの内容がVFO動作に移ります。
同調つまみ等で周波数をUP/DWNさせます。

マイコンバックアップ用リチウム電池について

本機は、リチウム電池でメモリーのバックアップをしています。このため電源スイッチを切っても、メモリーは保持されています。電源スイッチをいれたとき、前にメモリーした周波数が消えるようでしたら、リチウム電池の寿命です。早めに電池交換を行ってください。

ご注意：

マイコンバックアップ用リチウム電池を交換する場合は、購入店、または最寄りのサービスセンターにご相談ください。

リセット

マイコンのリセットには次の2種類の方法があります。

- A. セットの誤動作等で、メモリーチャンネルの内容を保存したまま、それ以外を初期状態にする。
 1. POWERスイッチをOFFにします。
 2. ENTERキーを押しながら、POWERスイッチをONにします。
- B. メモリーチャンネルの内容も含めて、全てのデータを初期状態にする。
 1. POWERスイッチをOFFにします。
 2. MキーとUPキー(∧)を同時に押しながらかPOWERスイッチをONにします。

注) 当社カーコンポーネントと接続してご使用の場合は、RZ-1ではPOWERのON/OFFはできませんので、車のエンジンキーで行ってください。

4-4. スキャン (自動選局)

4-4-1. スキャンの種類

1. フルレンジスキャン (VFO動作時)
受信周波数の全範囲をスキャンします。
2. バンド スキャン (VFO動作時)
ダイレクトバンド受信で選んだバンド範囲をスキャンします。
3. メモリーチャンネル スキャン (M. ch動作時)
受信周波数を書きこんであるメモリーチャンネルをスキャンします。
4. メモリーチャンネルグループスキャン (M. ch動作時)
100のメモリーチャンネルを10のグループに分け、1つのグループ内で受信周波数の書きこんであるメモリーチャンネルをスキャンします。

FM-Nモード(AUTOモードを含む)の場合は、まず信号のない周波数を選んで、SQLつまみをSIGNALの——が消える点(雑音がかえる)にします。

4-4-2. スキャンストップ条件

スキャンストップ条件は、S. SELキーを押すたびに SEEK → CARI → TIME → AUDIOに切りかわります。

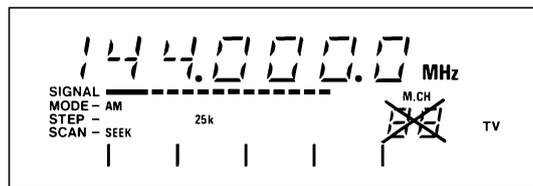
1. SEEK (シーク)
信号を受信するとスキャンは解除されます。
2. CARI (キャリア)
信号を受信するとスキャンは一時停止し、信号がなくなるとスキャンを再開します。
3. TIME (タイム)
信号を受信するとスキャンを停止し、約6秒後にスキャンを再開します。

4. AUDIO (オーディオ) : FM-Nモードで有効
音または音声でスキャンを停止し、約6秒後にスキャンを再開します。
FM-Nモード以外では、TIMEスキャン動作をします。

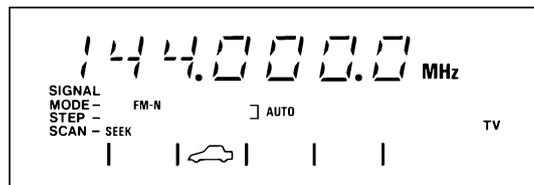
4-4-3. フルレンジスキャン

ダイレクトバンド受信の時はフルレンジスキャンはできません。

1. フルレンジスキャンは、VFO動作で行います。LCDディスプレイにM. ch表示がついている時は、VFO/M. chキーを押して、VFO動作にします。

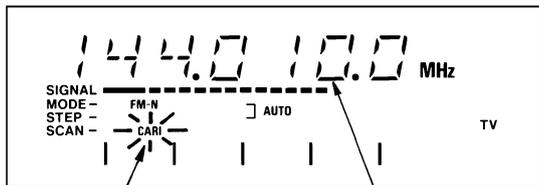


2. MODEキーで希望のモードを選びます。



AUTOモードの時は、スキャン範囲は0.504~905MHzになります。

- STEPキーで希望の周波数ステップを選びます。
(AUTOモードの時は不要)
- S. SELキーで希望のストップ条件を選びます。
- 同調つまみ等で、希望のスキャン開始周波数を選びます。
- SCANキーを押すと、スキャンを開始します。

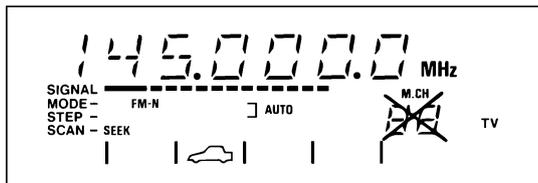


ストップ条件が点滅する 周波数変化する

- 同調つまみまたはUP/DWNキーでスキャンの方向を変えられます。
- SCANキーまたはCキーでスキャンは解除されます。

4-4-4. バンドスキャン

- バンドスキャンはVFO動作で行います。LCDディスプレイにM. ch表示がついている時は、VFO/M. chキーを押して、VFO動作にします。

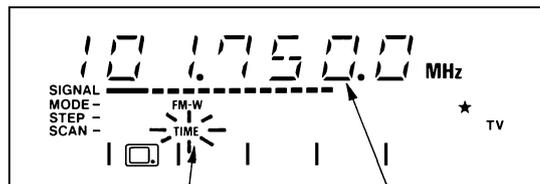


ストップ条件が点滅する 周波数変化する

- S. SELキーで希望のストップ条件を選びます。
- 1～8のバンドキー（テンキー）で、希望のバンドを選びます。

例、^{TV} 3 キー

- SCANキーを押すと、スキャンを開始します。

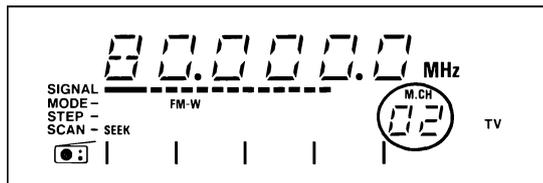


ストップ条件が点滅する 周波数変化する

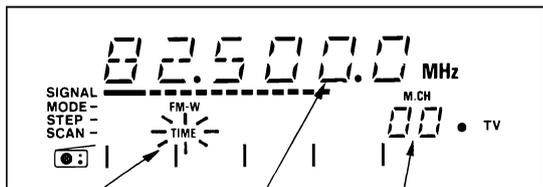
- 同調つまみ、またはUP/DWNキーでスキャンの方向を変えられます。
選択したバンドの上限（下限）の周波数に達すると、下限（上限）の周波数に移ります。
TV放送帯を選択した時は、TV放送の1～62chに割り当てられている周波数帯だけを順次スキャンします。
- SCANキーまたはCキーでスキャンは解除されます。

4-4-5. メモリーチャンネルスキャン

- メモリーチャンネルスキャンはM.ch動作で行います。
LCDディスプレイにM.ch表示がついていない時は、VFO/M.chキーを押して、M.ch動作にします。



- S.SELキーで希望のストップ条件を選びます。
- SCANキーを押すと、周波数の書き込んである全メモリーチャンネルをスキャンします。



ストップ条件が点滅する
メモリーチャンネル番号が変化する
スキャン中のメモリーチャンネルの周波数になる。

周波数の書き込んであるメモリーチャンネルが1つしかない時はスキャンしません。

- 同調つまみ、またはUP/DWNキーでスキャンの方向を変えられます。
- SCANキー、またはCキーでスキャンは解除されます。

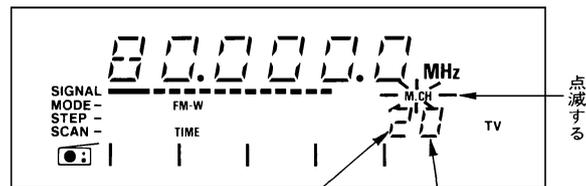
4-4-6. メモリーチャンネル・グループスキャン

前項のメモリーチャンネルスキャン操作手順で、SCANキーを押す前に、テンキーでグループを選ぶことにより、1つのグループ内のメモリーチャンネルだけをスキャンさせるものです。

テンキー (グループ番号)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
スキャンさせたいメモリー チャンネル番号のグループ	10	20	30	40	50	60	70	80	90	00
	19	29	39	49	59	69	79	89	99	09

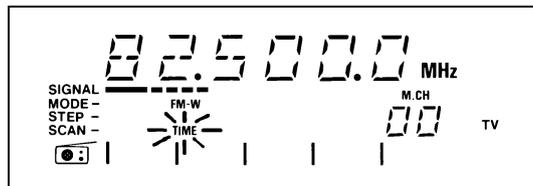
- メモリーチャンネルスキャン手順のSCANキーを押す前にグループ番号をテンキーで入力する。

例：0グループ



前に表示されていたメモリーチャンネルの1位の桁が移動する。
選択したグループ番号が示される。

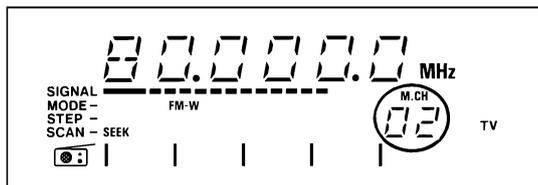
- SCANキーを押すと、M.chの点滅は消え、スキャン中であることを示すスキャン表示が点滅する。



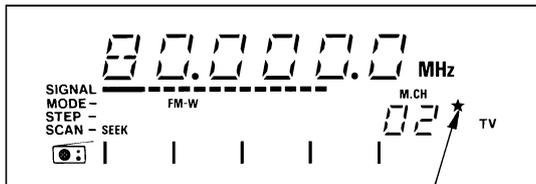
4-4-7. メモリーチャンネルロックアウト

受信周波数の書き込んであるメモリーチャンネルを、一時的にスキャンの範囲からはずす機能です。

1. メモリーチャンネルロックアウトは、M. ch動作で行います。LCDディスプレイにM. ch表示がついていない時は、VFO/M. chキーを押してM. ch動作にします。



2. 同調つまみ等で、ロックアウトするメモリーチャンネルを選びます。
3. STEPキーを押します。M. ch表示の右上に、★(ロックアウトマーク) が点灯します。



ロックアウトマーク

4. ロックアウトを解除するには、ロックアウト中のメモリーチャンネルを表示し、STEPキーをもう一度押します。

ご注意： _____

ロックアウトしたチャンネルに新しいデータを書き込むと、ロックアウトは解除されます。

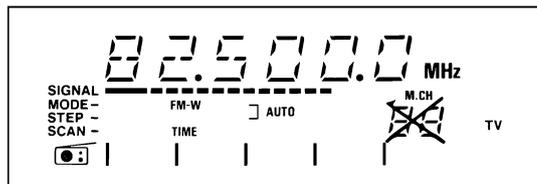
4-5. メッセージメモリー

チャンネルごとに最大7文字までのキャラクターをメモリーすることが出来ます。

4-5-1. メッセージメモリーの書き込み

1. LCDディスプレイにM. ch表示が灯いていないことを確認します。もし灯いている場合は、VFO/M. chキーを1回押します。同調つまみ等で希望の周波数を選択します。MODEキーで希望のモードを選択します。(AUTOモードにしておくと、周波数に応じたモードおよびステップが選択されます。)

例：82.5MHz AUTOモード



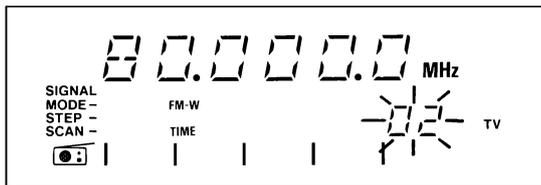
2. Mキーを押します。

最後に操作したメモリーチャンネルが表示されます。

例, チャンネル02,

書き込まれている周波数 80.0MHz

” モード FM-W

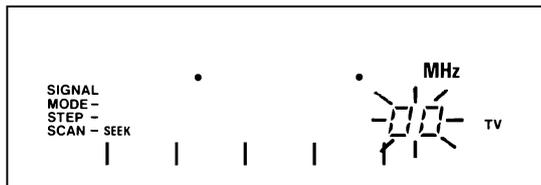


メモリーチャンネル番号は点滅し、書き込みモードになっています。

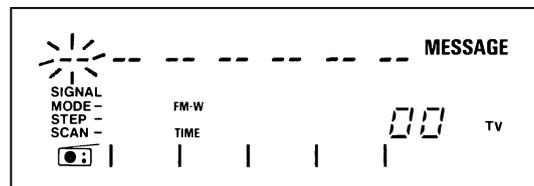
3. 希望のメモリーチャンネルを同調つまみで選びます。

例：チャンネル00,

- 同調つまみの他に、UP/DWNキーまたはテンキー(0, 0と押す)でも選べます。



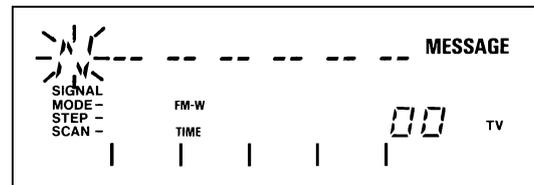
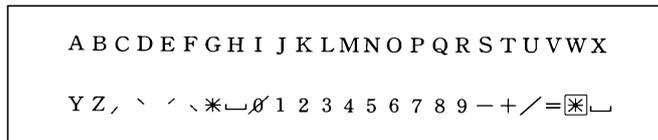
4. MSGキーを押します。



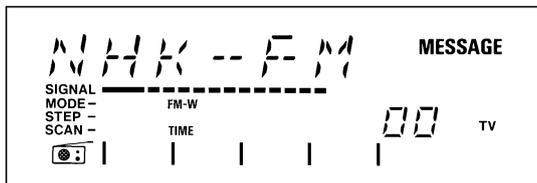
MESSAGE表示が点灯し、メッセージ表示部の最左端のーが点滅します。

5. 同調つまみを回します。

下表の文字、数字、記号および無記号(—)が連続的に表示されるので、希望の表示を選びます。



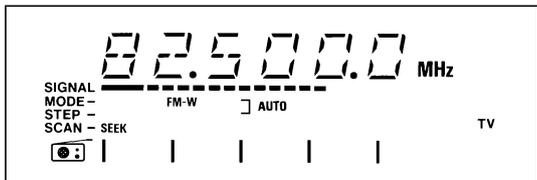
6. 次に進むにはUPキー(↑)を押します。
 前へ戻るにはDWNキー(↓)を押します。
 同調つまみで順次メッセージを入れます(MAX. 7)。



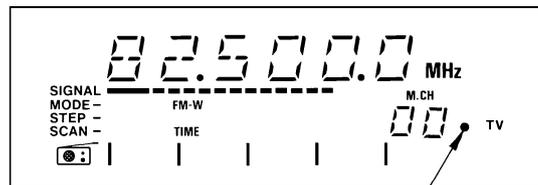
7. テンキーの1～7までを押すと、下記のマークに変更できます。
 7はマークの消去です。



8. メッセージとマークを選び終わったら、Mキーを押します。
 書き込みは終了し、1.で設定したVFO動作に戻ります。

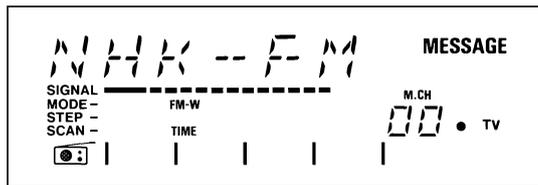


9. 確認のためVFO/M.chキーを押し、メモリーチャンネルを呼び出します。



メッセージがメモリーされている時点灯します。

10. メッセージを確認するために、MSGキーを押します。

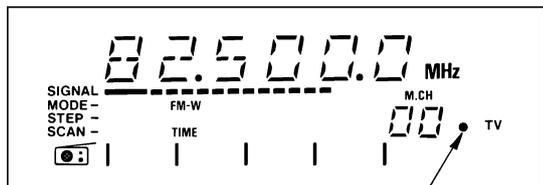


11. VFO/M.chキーを押して、もとのVFO動作に戻します。

4-5-2. メッセージメモリーの呼び出し

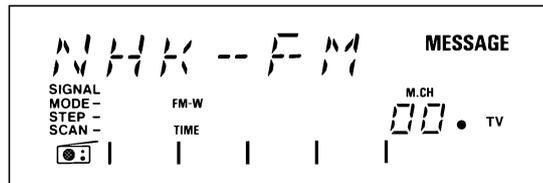
A. M.ch動作時

1. VFO/M.chキーで、M.ch動作にします。
2. 同調つまみまで、メッセージ表示のついているメモリーを選びます。



メッセージがメモリーされている時点灯します。

3. MSGキーを押します。
メッセージ表示されます。



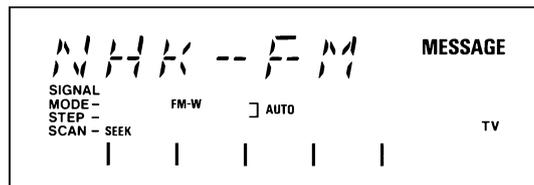
- 同調つまみを回すと、メッセージ画面のままメモリーチャンネルを変えられます。
- SCANキーを押すと、メッセージ画面のままメモリーチャンネルスキャンを行います。
- 先にテンキーでグループ番号を選んでからSCANキーを押すと、メッセージ画面のまま、メモリーチャンネルグループスキャンを行います。

B. VFO動作時

受信中のVFO周波数と同じ周波数がメモリーチャンネルに書きこまれている時、そのメモリーチャンネルのメッセージを表示します。

1. VFO/M.chで、VFO動作にします。
2. 同調つまみ等で希望の周波数を選びます。
3. MSGキーを押します。

同じ周波数がメモリーチャンネルに書き込まれている時は、そのメッセージを表示します。



同じ周波数が複数のメモリーチャンネルに書きこまれている時は、最も若いメモリーチャンネルのメッセージが出ます。そのメモリーチャンネルにメッセージが書かれていない時は下図のようになります。



VFO周波数と同じ周波数がメモリーチャンネルに書き込まれていない場合は、ブツというエラー音を発生し、表示は変わりません。

4. 再びMSGキーを押すと、もとのVFO動作に戻ります。
(VFO/M.chキーを押すと、表示されたメッセージのメモリーチャンネルが現われます。)

4-6. カセットデッキ接続時の操作

A. 音量調節

音量の調節はカセットデッキの側でおこないます。

B. テーププレイ時

テーププレイ中は、RZ-1の動作は止まります。

LCDディスプレイには、メモリーチャンネル99のメッセージ画面(初期設定KENWOOD)が表示されます。

C. チューナー機能のON/OFF

RZ-1の動作を止めたい時は、Cキーを押します。

4-7. 参 考

TVチャンネル受信周波数表

チャンネル	音声周波数(MHz)	チャンネル	音声周波数(MHz)
1	95.75	32	589.75
2	101.75	33	595.75
3	107.75	34	601.75
4	175.75	35	607.75
5	181.75	36	613.75
6	187.75	37	619.75
7	193.75	38	625.75
8	197.75	39	631.75
9	203.75	40	637.75
10	209.75	41	643.75
11	215.75	42	649.75
12	221.75	43	655.75
13	475.75	44	661.75
14	481.75	45	667.75
15	487.75	46	673.75
16	493.75	47	679.75
17	499.75	48	685.75
18	505.75	49	691.75
19	511.75	50	697.75
20	517.75	51	703.75
21	523.75	52	709.75
22	529.75	53	715.75
23	535.75	54	721.75
24	541.75	55	727.75
25	547.75	56	733.75
26	553.75	57	739.75
27	559.75	58	745.75
28	565.75	59	751.75
29	571.75	60	757.75
30	577.75	61	763.75
31	583.75	62	769.75

映像は、音声周波数に合わせるにより受信できます。

5. アクセサリー(別売)

モービルスピーカー

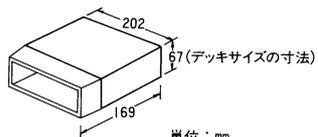
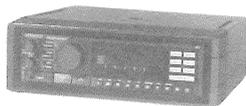
PSP-51

●最大入力:2W ●入力端子:2m(3.5mmミニプラグ) ●サイズ:60(幅)×50(高さ)×42(奥行)mm



汎用ラック(180mmWサイズ用)

SK-1800



単位: mm

ダッシュボードやアンダートレイに取り付けます。

SK-1800ご使用の際は外部スピーカー(PSP-51等)が必要です。

FM/AMカーアンテナ

CX-3000

トランクリッドタイプのFM/AMカーアンテナですから、ルーフがないクルマにも取り付けられます。またアンテナの角度を変えることもできます。さらにアンテナエレメントの取外しも可能です。



6. 保 守

6-1. アフターサービス

1. **保証書**——保証書には必ず所定事項(ご購入店名, ご購入日)の記入および記載内容をお確かめの上, 大切に保存してください。
2. **保証期間**——お買い上げの日より**1年間**です。
正常なご使用状態でこの期間内に万一故障が生じた場合, お手数ですが製品に保証書を添えて, お買い上げの販売店または当社サービスセンター, 営業所にご相談ください。保証書の規定に従って修理いたします。
3. 保証期間経過後の修理については, お買い上げの販売店または当社サービスセンター, 営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合, お客様のご要望により有料で修理いたします。
4. アフターサービスについてご不明な点は, お買い上げの販売店または当社サービスセンター, 営業所にご遠慮なくご相談ください。

6-2. 故障とお考えになる前に

本機は、内部の発振器の高周波やその合成波により、特にAIR BANDおよび短波帯でビートが発生することがあります。AM受信中は、ATTスイッチの位置にかかわらず電波の状況によって音がひずむことがあります。これは故障ではありません。

次のような症状は故障ではありませんのでよくお調べください。

症 状	原 因	処 置
電源スイッチを入れてもディスプレイパネルに何も表示しない。	電源のプラス端子⊕とマイナス端子⊖の接続が逆になっている。	DC電源コード（付属品）の赤色側をプラス端子に、黒色側をマイナス端子に正しく接続してください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因に関する修理をした後、1.5Aのヒューズと交換してください。 なお、DC電源コードのヒューズホルダーには、プラス側、マイナス側とも20Aのヒューズが入っています。
	カーコンポーネントと接続しているDINコネクタの差し込みが不完全。	DINコネクタをしっかりと差し込んでください。
表示が異常に暗い。	電源電圧が低下している。	電源電圧は、DC11V～16V(13.8V基準)です。
スピーカーから音が出ない。 受信できない。	アンテナがついていない。 アンテナとANTスイッチがマッチしていない。	アンテナを確認してください。
	RZ-1または、カーコンポーネントの音量の絞りすぎ。	適当な音量にセットしてください。
	FM-Nモードでスケルチが動作している。	FM電波を受信すると、音がでます。 (SQLつまみを反時計方向に回すと雑音がかかります。)
	モードの選択が不適當。	受信 P.14参照。
	チューナー機能がOFFになっている。	Cキーを押して解除してください。
	カーコンポーネントと接続しているDINコネクタの差し込みが不完全。	DINコネクタをしっかりと差し込んでください。

症 状	原 因	処 置
ディスプレイパネルのM.CHの文字が点滅している。	テンキーによるメモリーチャンネルの選択または、メモリーチャンネルグループスキヤンの操作が終了していない。	Cキーを押してください。
メッセージ表示の一部が点滅している。なお、ブランクの部分は点滅していても消灯に見えますのでご注意ください。	メッセージの書き込みの操作が終了していない。	Cキーを押してください。
SCANキーを押してもスキヤン動作をしない。	スキヤン動作の条件を満足しない。	スキヤン P.25参照。
VFO動作で、MSGキーを押してもメッセージを表示しない。	表示中の受信周波数が書き込まれているメモリーチャンネルが無い。	メッセージメモリ P.28参照。
メモリーのバックアップ（記憶の保持）ができない。	バックアップ用電池の寿命。	ご購入店または当社サービスセンターにご連絡ください。
MODEがきかない。	ダイレクトバンド受信中である。	ダイレクトバンド受信 P.14参照。
STEPがきかない。	ダイレクトバンド受信中である。	ダイレクトバンド受信 P.14参照。
カーコンポーネントと接続して使用中。メモリーチャンネル99の表示（初期設定KENWOOD）になったままで、キー操作をうけつけない。	a. テーププレイ中である。 b. チューナーOFFになっている。	a. テーププレイを止める。 b. Cキーを押す。
AM放送が大きくひずむ。	背面パネルのATTスイッチがOFFになっている。	ATTスイッチをONにする。
内部スピーカー使用時ハウリングが起きる。	受信する電波の状態によっては、音量の上げすぎによって起きる事があります。	a. 音量を下げてください。 b. 音量が不足する場合は、外部スピーカーを使用してください。

アフターサービスのお問い合わせは、
購入店または最寄りの当社サービスセンター
営業所をご利用ください。
商品に関するその他のお問い合わせは、
お客様相談室をご利用ください。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド